

「下水道排水樋管」編

令和元年台風第19号により排水樋管周辺の多くの地域で浸水被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回は多摩川にある狛江市の排水樋管である「六郷排水樋管」と「猪方排水樋管」について、その役割をご紹介します。

六郷排水樋管



「六郷排水樋管」は、調布市の一部、西和泉一帯、中和泉四丁目・五丁目に降った雨水の一部を多摩川へ放流します。流域面積は約260ha（うち狛江市分約18ha）です。

所在地は狛江市元和泉三丁目、排水樋管には縦2.9m、横3.4mのトンネルが2つあります。長さはそれぞれ20.8mもあります。

猪方排水樋管



「猪方排水樋管」は、駒井町、猪方、東和泉三丁目・四丁目の一帯と元和泉三丁目の一部に降った雨水を多摩川へ放流しています。流域面積は約95haです。

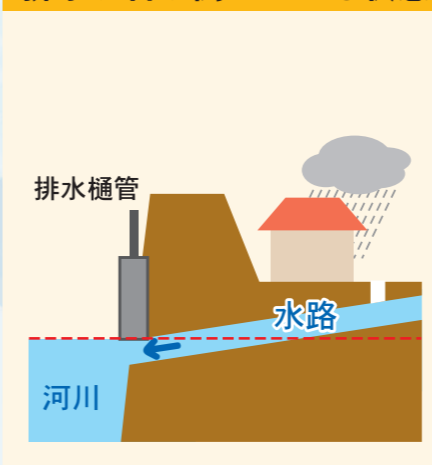
所在地は狛江市駒井町三丁目、排水樋管には縦2.9m、横2.9mのトンネルがあり、その長さは30.75mもあります。

排水樋管の役割って？

排水樋管とは、雨水を河川に排水することを目的に設けられる施設で、排水の際は雨水が堤防の中を横断するしくみとなっています。

排水樋管を閉めることにより、多摩川の水位が上昇した際、多摩川の水が宅地側に逆流するのを防ぐことができます。ただし市内で雨が降っている場合は、その降雨により宅地側に水が溜まってしまうため、排水樋管を閉めることでかえって水害を引き起こしてしまう恐れがあります。

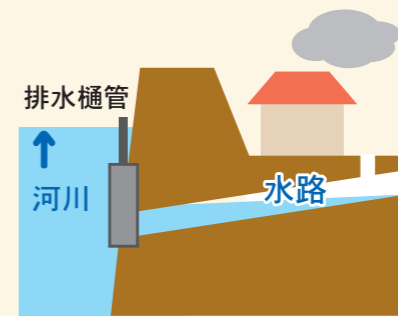
排水樋管が開いている状態



排水樋管を閉じると

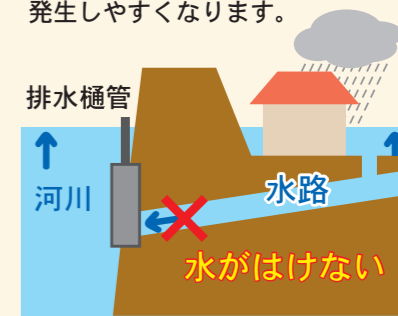
①宅地側の水が増えなければ…

宅地側は浸水しにくくなります。



②宅地側でも水が増えたと…

宅地側の水がはけずに浸水被害が発生しやすくなります。



今後の六郷排水樋管と猪方排水樋管の改築予定

令和元年10月12日の台風第19号による浸水被害に対して、浸水の原因調査を行うと共に以下の対策を実施します。

- ①デジタル水位計と監視カメラを設置します。
- ②排水樋管を遠隔操作できるように設計を始めます。
- ③六郷排水樋管と猪方排水樋管にポンプを配置します。

遠隔操作化イメージ図

